

令和6年3月

教育内部質保証委員会

令和5年度における教育に係る自己点検・評価結果について（報告）

本年度は、「福井大学における教育の内部質保証に関する要項」に基づき、教育に係る自己点検・評価として、

（1）教育課程の自己点検・評価（モニタリング）（同要項第7条）

を実施した。

【教育課程の自己点検・評価（モニタリング）の実施】

教育課程の自己点検・評価（モニタリング）は、「教育課程の自己点検・評価（モニタリング及びプログラム・レビュー）に関するガイドライン」に沿って、以下のように実施した。

（1）実施体制

教育課程に責任を負う基本組織として、「福井大学における教育の内部質保証に関する要項」別記第1に示された以下の実施組織によって、本自己点検・評価が実施された。

- ・ 共通教育部
- ・ 教育学部
- ・ 医学部
- ・ 工学部
- ・ 国際地域学部
- ・ 連合教職開発研究科
- ・ 医学系研究科
- ・ 工学研究科
- ・ 国際地域マネジメント研究科

（2）実施方法

実施組織は、基本的に、以下の要領に沿って教育課程のモニタリングを実施した。

- 1) 教育課程について、ガイドライン別紙1に示す点検項目と方法に沿ってモニタリングを行った。
- 2) モニタリングの結果は「自己点検・評価シート（モニタリング）」に記載した。
- 3) その際、収集したデータなどを基に、教育課程が健全な状態にあることを確認す

るとともに、改善すべき点がある場合には、改善方策等を検討し適宜実施した。
各点検項目について、自己点検・評価は以下の評点で実施し、

1. 適正（妥当、良好）である
2. 改善が求められる

評点「改善が求められる」の場合には、その改善方策等を策定し、「自己点検・評価シート（モニタリング）」に記載した。

(3) 自己点検・評価実施期間

本自己点検・評価は、主に、令和5年8月から令和5年12月に実施した。

(4) 自己点検・評価結果の概要、委員会からの意見等

・実施組織によって記述量や記述の仕方に違いは見られたが、ガイドライン別紙1に示す全ての点検項目について、概ね、適正に自己点検が実施されている。

「改善が求められる」等と自己評価されたものについては、〈改善すべき点〉の記述が具体性を欠いているケースも見受けられたが、モニタリングを通じて問題点が明確に認識されたことを受け、今後、それらの改善が鋭意図られることを期待したい。

・「改善が求められる」と自己評価された項目の中には、前年度も同様に評価されたものもあるのではないかと。そのような項目について、どのように改善されているのかを記載頂きたい。例えば、「(7) シラバスの入力状況」について、「改善が求められる」ケースが複数年、複数組織に見られる。教員への周知の徹底やチェック体制により比較的改善が容易である項目であり、改善が望まれる。

・法人評価や認証評価で問題とされる標準修業年限内の修了率、及び標準修業年限X1.5の修了率について、それらが低い研究科では是正が求められる。

(5) 自己点検・評価（モニタリング）の改善

・質保証の前提は「結果の公表」であり、モニタリング結果についても、他部局の参考にもなるので、学内限定で公表してはどうか。その際、各部局に学内限定公表について、了解いただく必要がある。

・〈改善すべき点〉欄には、文字どおり「改善すべき点」を指摘するにとどめ、改善方策まで述べられていないケースも見受けられた。また、「適正である」と判断された項目に関する補足の記述が同欄でなされているケースもあった。こうした点を考慮し、〈改善すべき点〉欄を改善してはどうか。

・点検項目の中で、前年度に「改善が求められる」と自己点検されたものについて、一年間でどのような改善がなされたのかを尋ねることができるよう改善状況を付記していただいてはどうか。

・基本組織ごとに設定された基準値については、その根拠を示すコメントをどこかで求

めた方がよいように思える。特に基準値が前年度から変更された場合には、説明が必須である。

以上のことを参考にして、自己点検・評価シート（モニタリング）等を修正する。

(参考資料)

教育課程の自己点検・評価（モニタリング及びプログラムレビュー）に関するガイドライン